

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	13	介護福祉士資格取得がキャリアアップの有効な手段の一つであると位置づけているが、まだ介護福祉士でない職員が45%いる状況。	介護福祉士を取得する職員を70%にしていく。	ユニット会議や日々の業務の中、必要に応じて個人面談等で介護福祉士を取得していない職員に、介護福祉士資格取得の意義等の理解を進め、受験を推進していく。	5ヶ月
2	13	現在3名のユニット長が50歳代なので、今から次のリーダー(ユニット長)を育てていかなければならないが、まだ候補となる職員が育っていない。	次のリーダーとなる職員を育てる。	各委員会等で個人の役割をもたせること、ユニット会議等話し合いの場で自分の考えや質問等を引き出す状況を作ること、内外の研修に参加することで成長を促す等により育てていく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。